



国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口では、にかほ市の人口は2040年（平成52年）には18,008人に減少すると想定されています。すなわち25年後には、にかほ市の人口が約8,000人減少するこ
 どになります。児童・生徒数は、平成27年度は小学生1,236人、中学生680人、合わせて1,916人ですが、平成33年度には小学生964人、中学生568人、合わせて1,532人になり、6年後には約20%減少します。

象潟地域小学校の児童数の現状（平成27年度）（単位：人）

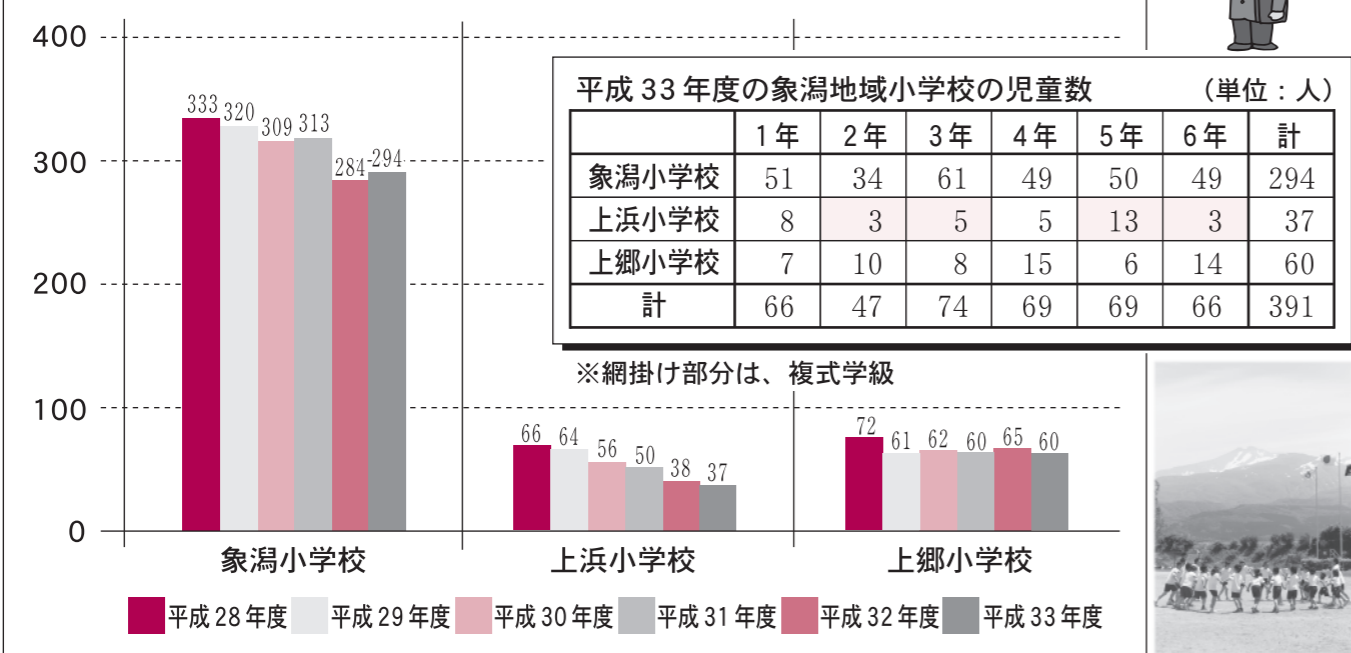
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
象潟小学校	41	63	57	60	63	61	345
上浜小学校	9	15	11	13	15	14	77
上郷小学校	12	5	10	14	17	16	74
計	62	83	78	87	95	91	496

複式学級（国の基準）

2つの学年の合計が16人以下、また1年生を含む場合は8人以下の場合、複式学級を編成。
 複式学級では2つの学年が1つの教室で、1人の先生が授業を行います。

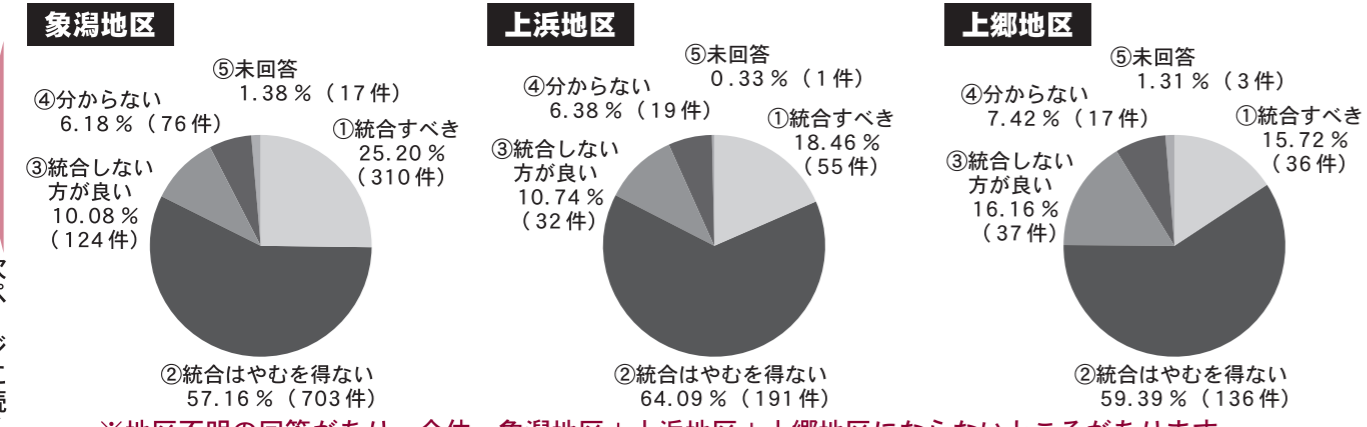
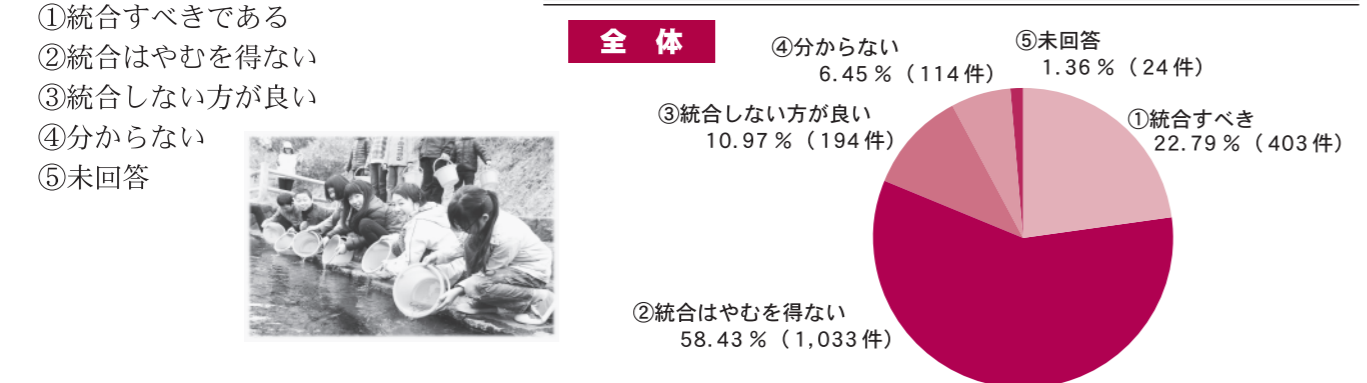
※網掛け部分は、複式学級

象潟地域小学校の児童数の推移（平成27年4月現在）（単位：人）



象潟地域の小学校統合に関するアンケート調査結果（平成27年8月実施）

◆象潟地域の3小学校の統合について 配付数 3,890世帯 回収数 1,768世帯 回収率 45.45%



※地区不明の回答があり、全体=象潟地区+上浜地区+上郷地区にならないところがあります。



横山市長へ提言書提出



大久保教育委員長へ提言書提出

ますが、県の配慮により1人の教員が特別配置され、複式学級は現在解消されています。しかしながら、今後も児童数の少ない状況で推移することが見込まれます。上浜小学校では、平成29年度から複式学級が発生し、平成35年度頃には3つの複式学級になる見込みです。
 このような少子化に対応するため、小学校の統合を検討し、平成26年度に実施した象潟地域教育懇談会での意見を踏まえ、昨年7月に学校規模適正化検討委員会（委員長・高橋行二）を立ち上げ、さらには象潟地域全世帯を対象にアンケート調査を実施しました。そのアンケート調査結果と学校規模適正化検討委員会から提出された提言書についてご紹介します。

今後の対応
 提出された「提言書」をもとに、市長および教育委員で組織する総合教育会議で話し合いを行い、象潟地域の小学校統合について方針を定めることとしています。方針が定まった時には、広報で紹介するとともに学校単位での説明会などを行っていきます。

にかほ市学校規模適正化検討委員会の「提言」
 ◇象潟地域の3小学校の統合について
 1 平成30年度をめどに、上浜小学校と上郷小学校の小規模化解消のため、象潟小学校と統合することが望ましい。
 ただし、統合までの間、上浜小学校と上郷小学校の複式学級を避ける手立てを講じていただきたい。
 2 統合後の新校舎建設に向けて検討していただきたい。
 ◇学校統合における諸条件について
 1 統合にあたっては、児童の遠距離通学等を考慮し、スクールバス等の交通手段を確保していただきたい。
 2 現象潟小学校に統合する場合は、地理的に国道、鉄道、河川が近いので、交通安全対策や津波等の震災対策に十分配慮するとともに、防災教育を一層進めていただきたい。
 3 新校舎の建設を計画する場合には、駐車場、グラウンドが十分に確保され、小中連携教育を推進しやすい場所に建設していただきたい。
 4 統合した地区の活性化策と校舎の活用を検討していただきたい。

次ページに続く